

具体化方策の前期5か年の実績について（ハード事業の取り組みについて）

資料1-1

歴史的風致の維持向上を進めるにあたり、町なみの景観の保全、歴史的建造物の保存・活用やまちなか周遊機能の向上など、市民や来訪者が本市固有の歴史的風致を感じられる視点で施設の整備を行い、歴史的風致の維持向上を図る。

（1）大館城跡と周辺の町なみの景観保全・形成



公園修景整備に向けた意見交換会



無電柱化の整備イメージ

- ②一般国道7号(豊町・長倉・桂城地区)電線共同溝整備
- ③御成町地区電線共同溝整備

市街地の良好な景観を形成するため、事業延長を拡大し、無電柱化の整備を進める。
また長木川以北の大館駅から続く御成町地区も無電柱化を延伸する。

①桂城公園(大館城本丸跡)修景整備

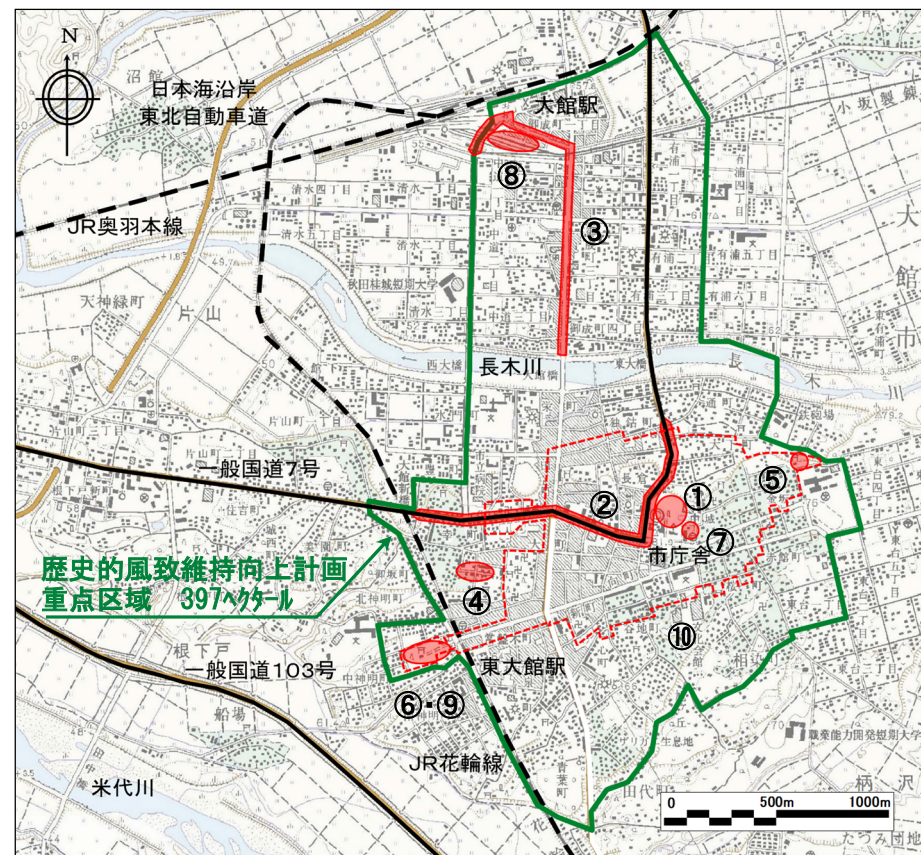
「歴史と未来が交差する水と緑の城址公園」を整備方針とし、関係団体と意見交換を重ね、基本計画を策定し、市民が愛着や誇りを



桜満開の桜並木通り

④道路美装化の整備(幸町地区桜並木通り)

歴史的建造物や桜並木と調和を図る道路美装化を進めるにあたり、地区住民と一緒に景観形成に取り組み、電柱の統合修景、植樹帯や側溝の修景、路面の美装化を行った。

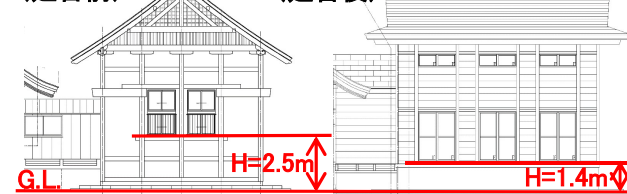


（2）歴史的建造物の保全・活用



(建替前)

(建替後)



⑥大館神明社建造物群の保全

例祭の舞台となる本殿の盛土基礎擁壁の再構築及び本殿玉垣の改修を行った。あわせて、手水舎の改修により境内の景観向上を図った。

⑤大館八幡神社覆屋建替え

重要文化財を保護する覆屋の建替にあたり、防火設備を更新し、開口部を大きく低くし、所有者不在の際も、外部から重要文化財を仰ぎ見て、参拝することが可能になった。



⑦桜櫓館耐震改修・利活用推進

耐震性能が低いため、耐震改修を行い、利用者等の安全を確保した。改修後は見学や施設利用が増加し、木育教室など多様な利活用が行われている。

ハード事業の実施にあたっては、施設や地域の歴史を取り巻く環境をていねいに調査するとともに、周辺の景観に配慮し、地域住民や関係団体などと十分に協議したうえで実施する。また、良好に施設を維持できるよう、所有者や地域住民、関係団体と連携して取り組む。

（3）歴史的風致の認識向上と情報発信



忠犬ハチ公の縁により、大正時代の渋谷駅をモチーフにした「秋田犬の里」



鉱山や鉱山鉄道の歴史を紹介した鉄道パーク



⑨大館神明社周辺環境整備

大館神明社例祭での各講の大きな曳山車のスムーズな運行と来訪者の安全を図るため、曳山車通路を新設、駐車場を兼ねた待機場所を整備した。



⑩大館城下町名標柱整備

どこでも博物館の会と連携し、大館城下の名残がある町名の標柱を設置した。QRコードから多言語翻訳や写真の閲覧が可能となり、周遊性が向上した。



秋田犬展示室

⑧秋田犬情報発信拠点整備

秋田犬の歴史や文化の認識向上を図るため、また、まち歩きの中継点となる観光交流施設「秋田犬の里」を整備した。内部には、秋田犬展示室やミュージアム、隣接して鉄道パークを整備し、県内外から来訪者が訪れている。



整備により、約半世紀ぶりに境内での余興奉納奉告祭を執り行う舞台が整った。また、地元中学生の美化活動が行われ、愛着や誇りに繋がっている。



どこでも博物館標柱QRコード(No.57三ノ丸)



街歩きデジタルマップ(大館)QRコード

具体化方策の前期5か年の実績について（ソフト事業の取り組みについて）

資料1-2

現在、社会環境や生活様式の変化、人口減少、少子高齢化が進み、民俗芸能や伝統文化を継承していくことが難しい時代を迎えている。その中で、市民がふる里におだてに、自信と誇りを持って暮らしていただくことが大切であると考え、大館市歴史的風致維持向上計画を策定した。今後も、当市の歴史・文化・伝統を基軸に、歴史的風致を守り育て、文化財の保全や良好な景観形成を図る施策を積み重ね、「住んでよし・訪れてよし」のまちづくりを推進する。

ソフト事業は、市主催企画事業のほか、民間まちづくり実行委員会の設立をきっかけに、地域文化財の活用推進に向けた取り組みが推進している。
また、大館市とゆかりのある自治体や関係団体と友好を深め、ご縁がある方々とのつながりを大事にし、政策連携と広域連携を重ねている。
今後も、ふる里におだての更なる魅力の創出を目指し、市民と一緒に取り組んでいく。

（１）市主催企画事業



①歴まち散歩の開催

歴史的風致の例祭に参加、巨木や道祖神を巡るまち歩きを開催、また秋田犬ツーリズム、商工会議所などと連携し、まち歩きデジタルマップを作成した。



②出前講座の開催

高校や町内会等からの要請を受け、人口減少、少子高齢化が進む中での歴史まちづくりのほか、歴史、文化や地域資源についてご紹介する出前講座を開催した。



③フォトコンテストの開催

「あなたが残したい営みや風景」などをテーマに平成29年度から3回開催。応募作品は、ホームページで閲覧が可能である。今後はガイドブックに掲載予定である。



④伝統文化親子教室の開催

文化財を活用して次世代を担う子どもたちへ伝統芸能や生活文化の体験講座を開催し、地域文化を継承しつつ地域人材の掘り起こしを図った。



⑤歴史観光案内人養成講座の開催

平成30年度から2か年にわたり、ふるさと大館探求講座で、大館の魅力伝えるノウハウや歴史、文化、伝統などを受講し、案内人として活躍している。



⑥大館城跡発掘調査説明会の開催

発掘調査の現地説明会に、県内外から多くの方が参加し、約400年前の城跡や堀跡の説明を熱心に聞き入り、往時に想いを馳せていた。

（２）民間提案型まちづくり事業



⑦どこでも博物館標柱の設置

平成28年度にどこでも博物館の会が設立し、市内の史跡等に多言語翻訳及び歴史や文化の情報を得られるQRコード付きの標柱を設置を進めている。



⑧地域応援プランの継続

平成22年度から継続の地域応援プラン（住民によるまちづくりや地域活性化の活動に支援）は、活動80団体となり、地域の景観向上や地域資源の魅力を高めている。



⑨まちづくり実行委員会の設立

平成30年度に民間4団体で構成する文化遺産活用まちづくり実行委員会が設立し、人材育成、普及啓発、後継者養成などの活動を、市民と一体で取り組んでいる。



⑩祭りシンポジウムの開催

秋田の祭りシンポジウムや大館祭語りシンポジウムを開催し、少子高齢化が進む中で例祭開催の課題等について、関係団体とディスカッションを行った。



⑪ヘリテージマネージャーの養成

養成講座により26人が歴史的建造物の保全や活用の知識を修得した。引き続き、スキルアップとして、市内の歴史的建造物の調査等に取り組んでいる。



⑫大館囃子講習会の開催

大館囃子の正調を子どもたちへ継承する講習会を開催。また映像を記録した教則DVDを作成し、小・中学校に配布。例祭や曳山車運行で音色を披露している。

（３）広域連携の取り組み



⑬中尊寺ハスの株分け

奥州藤原四代泰衡公を祀る錦神社がある二井田地区館町内会と中尊寺の交流が縁で中尊寺よりハスの株分けをいただき、関係者が大事に守り育てている。



⑭歴まちシンポジウムの開催

奥州藤原氏を縁とした平泉町、横手市、美郷町や中尊寺、毛越寺と「東北の平和を希求する想いをまちづくりにつなぐ」をテーマにディスカッションを行った。



⑮公開研究会の開催

甲斐源氏で繋がる山梨県中央市と、比内浅利氏のルーツをテーマに公開研究会を重ね、また地元小学校は、ふるさとキャリア教育で地域学習を継続している。



⑯忠犬ハチ公の物語り

忠犬ハチ公の物語りにより、ハチ公のはく製が32年ぶりに大館へ里帰りした。また渋谷区とは青ガエルを譲り受けるなど各分野で綿密な連携を図っている。



⑰木育活動「ウッドスタート」宣言

東京おもちゃ美術館とのウッドスタート宣言書に調印。地域資源の木材と大館曲げわっぱの技術を活かし、木のおもちゃの誕生祝い品贈呈に取り組んでいる。



⑱相模女子大学プロジェクト活動

相模女子大の学生が地域協働活動を目指す中、御成座や大葛地区で関係者と一緒にプロジェクトを継続し、外から見た大館の良さを情報発信している。

中間評価アンケートの結果について

(1)実施期間 令和4年2月25日 ~ 令和4年3月14日

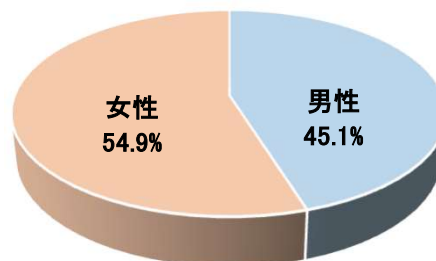
(2)実施方法 市全域の18歳以上の市民を年齢構成の比率で1,000人無作為抽出し、アンケート票を配布、回収。

■回答総数 456人

資料2

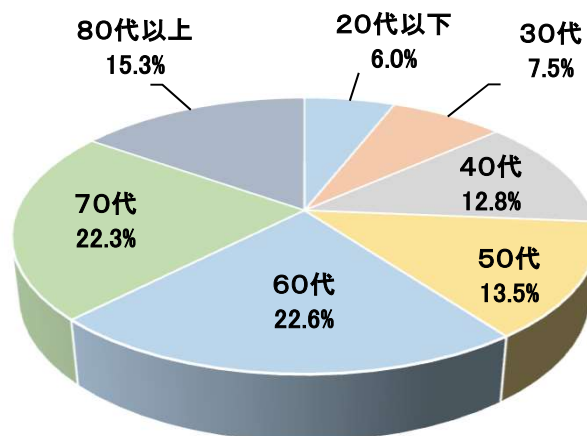
1. 性別

性別	人数(人)	割合
男性	204	45.1%
女性	248	54.9%
無回答	4	-
計	456	100.0%



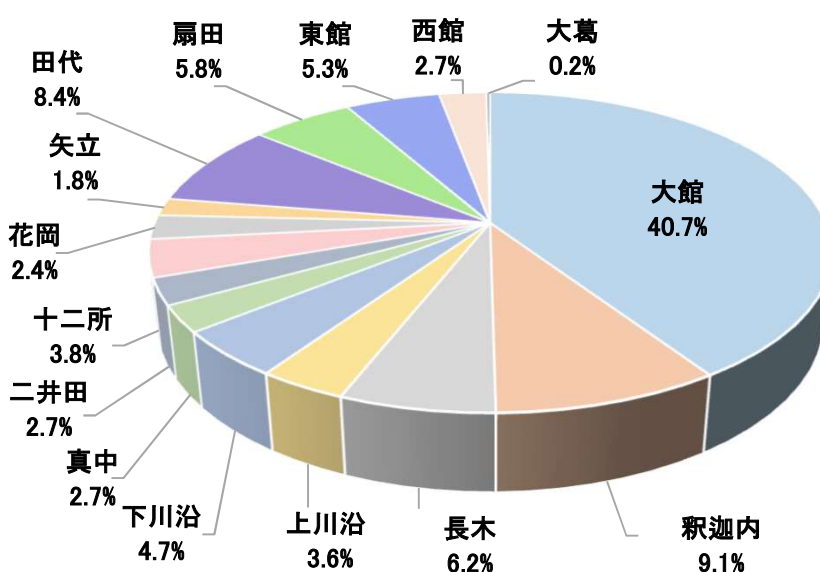
2. 年齢

年代	人数(人)	割合	配布数	回収率
20代以下	27	6.0%	92	29.3%
30代	34	7.5%	97	35.1%
40代	58	12.8%	137	42.3%
50代	61	13.5%	142	43.0%
60代	102	22.6%	178	57.3%
70代	101	22.3%	184	54.9%
80代以上	69	15.3%	170	40.6%
無回答	4	-		
計	456	100.0%	1,000	45.6%



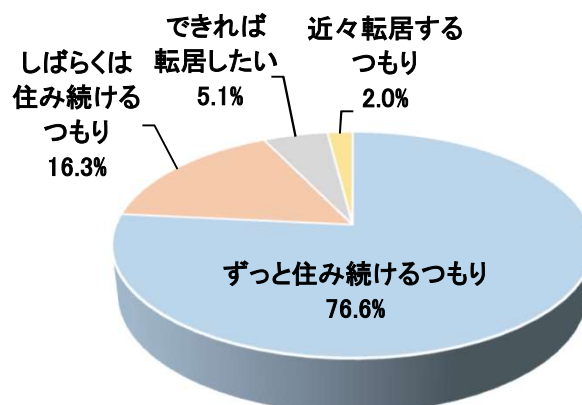
3. お住まいの地区

地区	人数(人)	割合
大館	183	40.7%
釈迦内	41	9.1%
長木	28	6.2%
上川沿	16	3.6%
下川沿	21	4.7%
真中	12	2.7%
二井田	12	2.7%
十二所	17	3.8%
花岡	11	2.4%
矢立	8	1.8%
田代	38	8.4%
扇田	26	5.8%
東館	24	5.3%
西館	12	2.7%
大葛	1	0.2%
無回答	6	-
計	456	100.0%



4. 現在の居住地での居住意向

居住意向	人数(人)	割合
ずっと住み続けるつもり	343	76.6%
しばらくは住み続けるつもり	73	16.3%
できれば転居したい	23	5.1%
近々転居するつもり	9	2.0%
無回答	8	-
計	456	100.0%

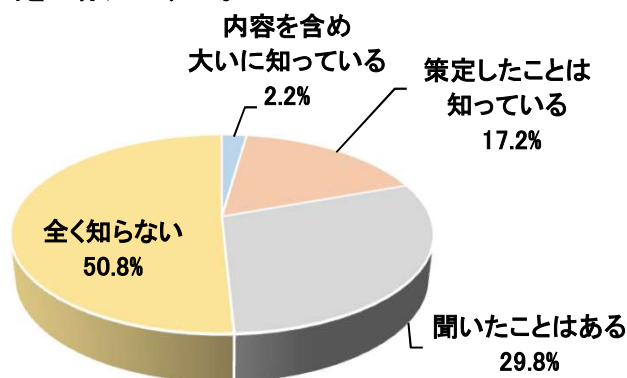


「大館市歴史的風致維持向上計画」の中間評価に関する設問・回答

資料2-1

問1 平成29年3月に策定した大館市歴史的風致維持向上計画をご存知ですか。

内容	人数(人)	割合
内容を含め大いに知っている	10	2.2%
策定したことは知っている	77	17.2%
聞いたことはある	133	29.8%
全く知らない	227	50.8%
無回答	9	-
計	456	100.0%



問2 大館市の維持向上すべき6つの歴史的風致をご存知ですか。

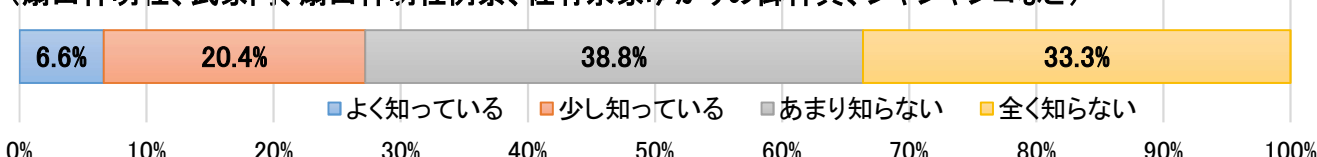
(1) 大館城下の町割りに残る歴史的風致

(大館城跡、大館八幡神社、大館神明社、大館神明社例祭、大館囃子、アメッコ市など)



(2) 扇田神明社をめぐる歴史的風致

(扇田神明社、武家門、扇田神明社例祭、佐竹宗家ゆかりの御神輿、ジャジャシコなど)



(3) 田代岳の作占いに見る歴史的風致

(田代岳、田代山神社、9合目池塘、作占い、田代山神社例祭、参拝登山、笹とツゲなど)



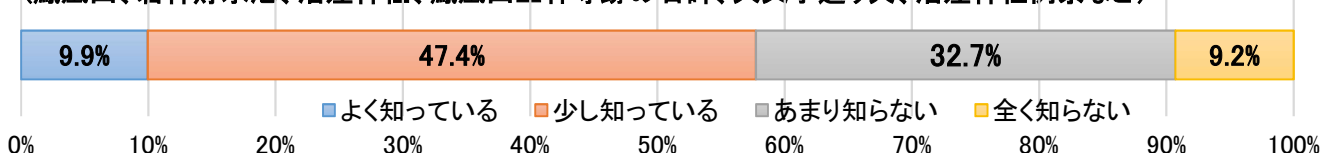
(4) 天然記念物「秋田犬」を守り育てる歴史的風致

(大館城跡、秋田犬群像、忠犬ハチ公銅像、秋田犬本部展覧会、忠犬ハチ公生誕祭、慰霊祭など)



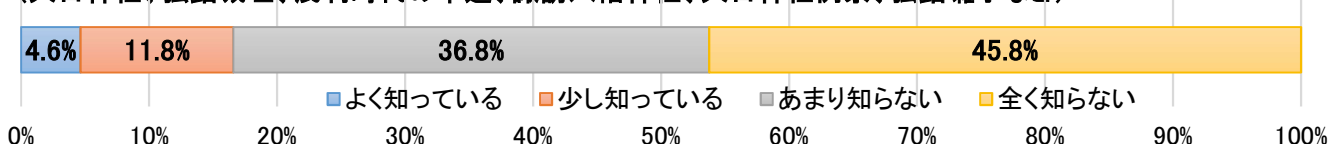
(5) 鳳凰山周辺に見る歴史的風致

(鳳凰山、岩神貯水池、沼窪神社、鳳凰山玉林寺跡の石碑、大文字送り火、沼窪神社例祭など)

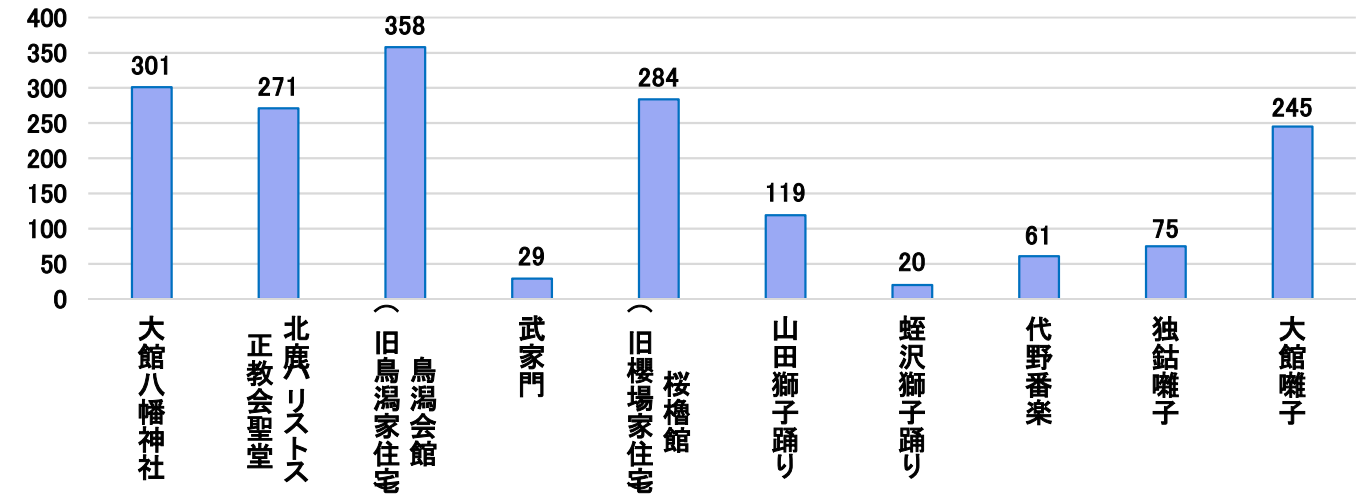


(6) 浅利氏ゆかりの独鈷の歴史的風致

(大日神社、独鈷城址、浅利時代の本道、諏訪八幡神社、大日神社例祭、独鈷囃子など)

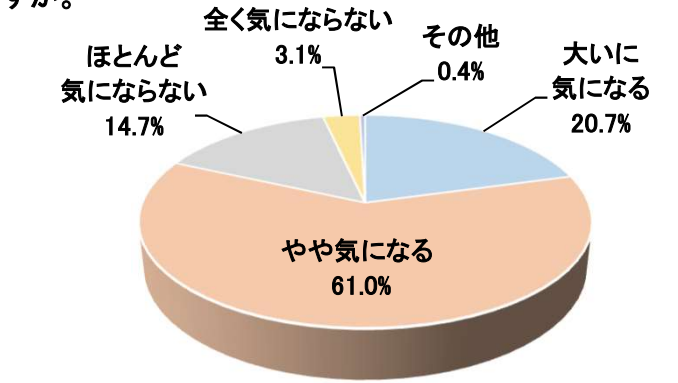


問3 大館市にある有形文化財(建造物)・無形文化財(民俗芸能)をご存知ですか。
(ご存知の文化財に○を記載)



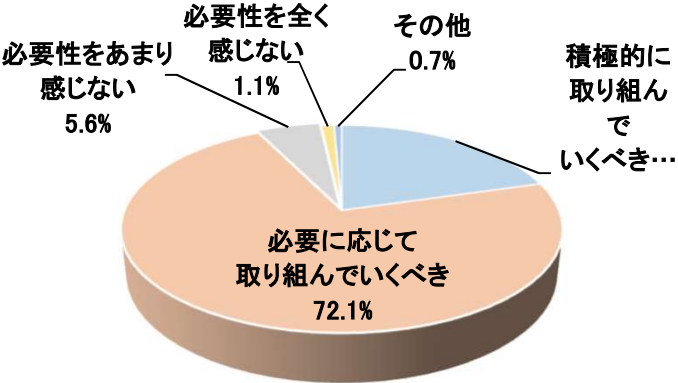
問4 神社、寺院などの歴史的価値の高い建造物や、例祭などの伝統を反映した人々の営みが減少していくことをどのようにお考えですか。

内容	人数(人)	割合
大いに気になる	93	20.7%
やや気になる	274	61.0%
ほとんど気にならない	66	14.7%
全く気にならない	14	3.1%
その他	2	0.5%
無回答	7	-
計	456	100.0%



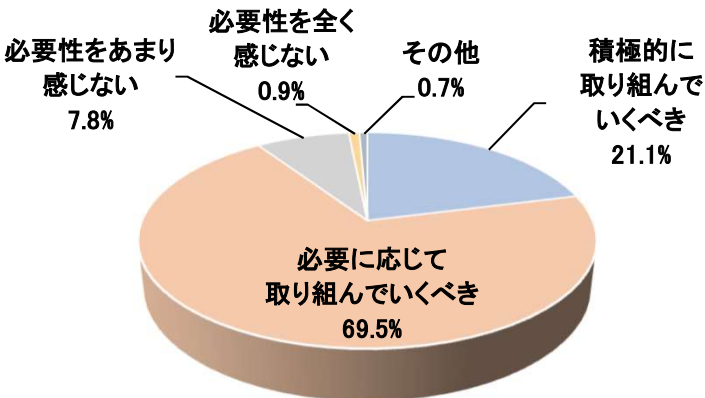
問5 資料1-1のハード事業の取り組み(歴史的な町なみや建造物の保全など)について、どのようにお考えですか。

内容	人数(人)	割合
積極的に取り組んでいくべき	92	20.5%
必要に応じて取り組んでいくべき	323	72.1%
必要性をあまり感じない	25	5.6%
必要性を全く感じない	5	1.1%
その他	3	0.7%
無回答	8	-
計	456	100.0%

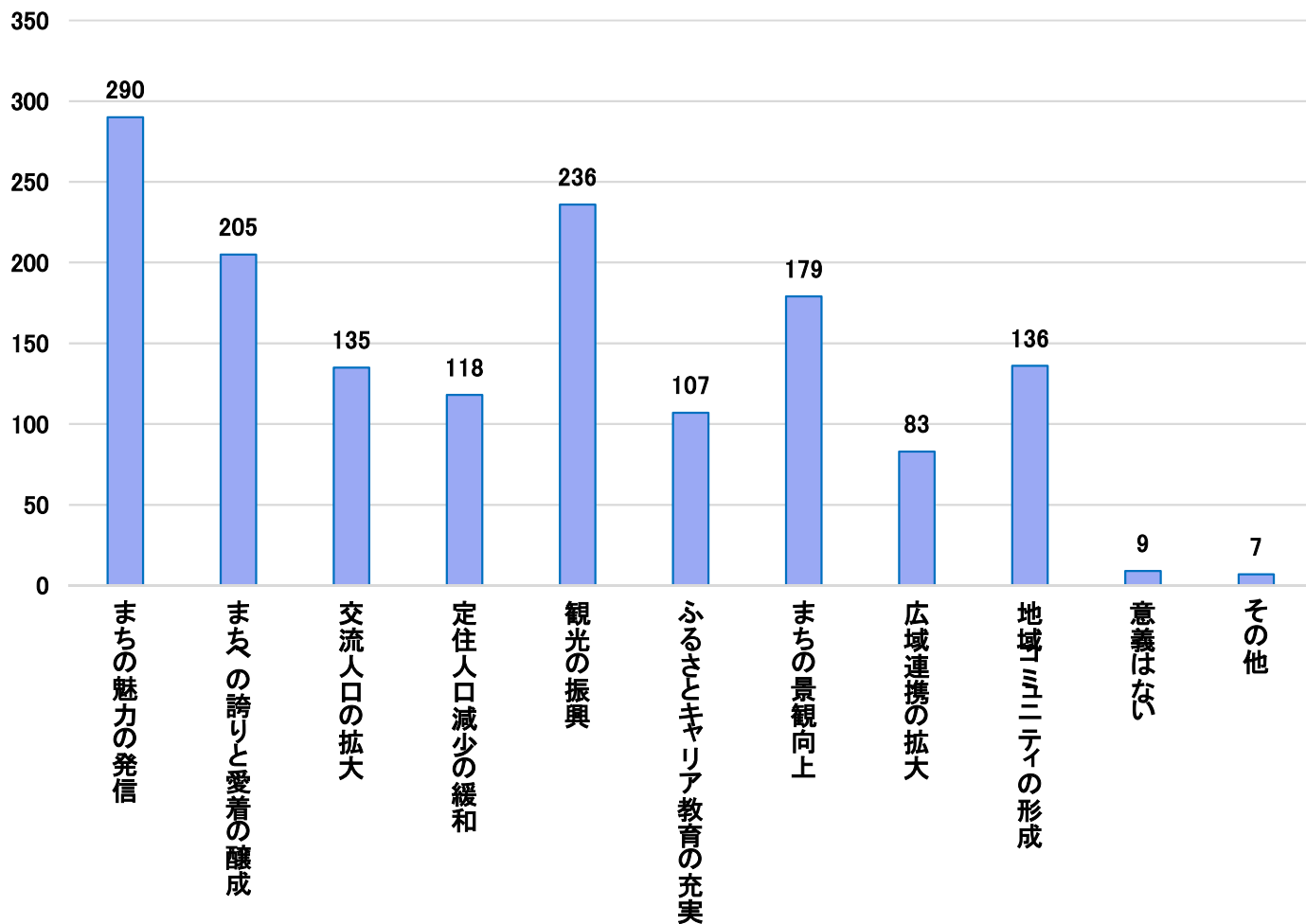


問6 資料1-2のソフト事業の取り組み(民間提案型まちづくりや広域連携など)について、どのようにお考えですか。

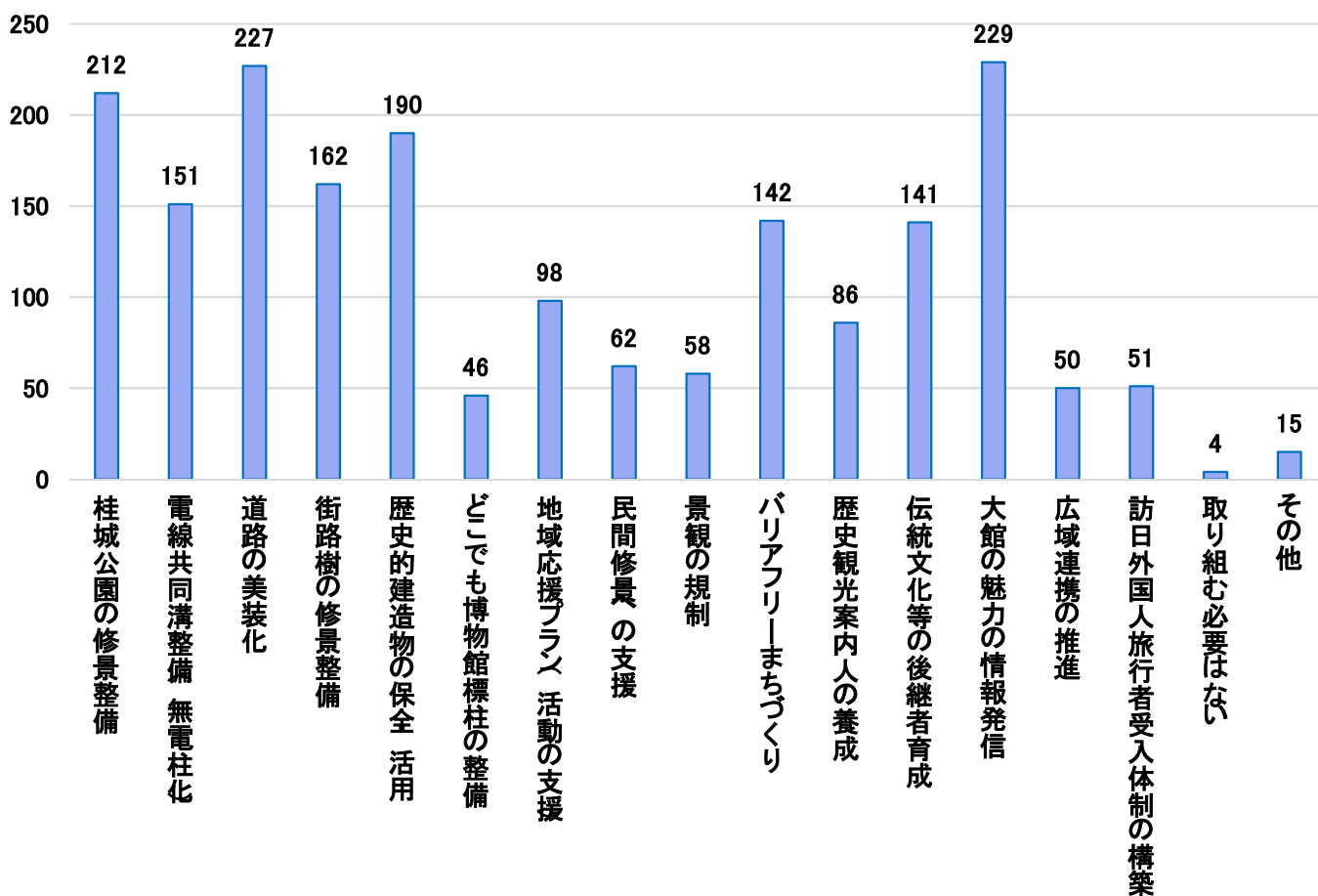
内容	人数(人)	割合
積極的に取り組んでいくべき	94	21.1%
必要に応じて取り組んでいくべき	310	69.5%
必要性をあまり感じない	35	7.8%
必要性を全く感じない	4	0.9%
その他	3	0.7%
無回答	10	-
計	456	100.0%



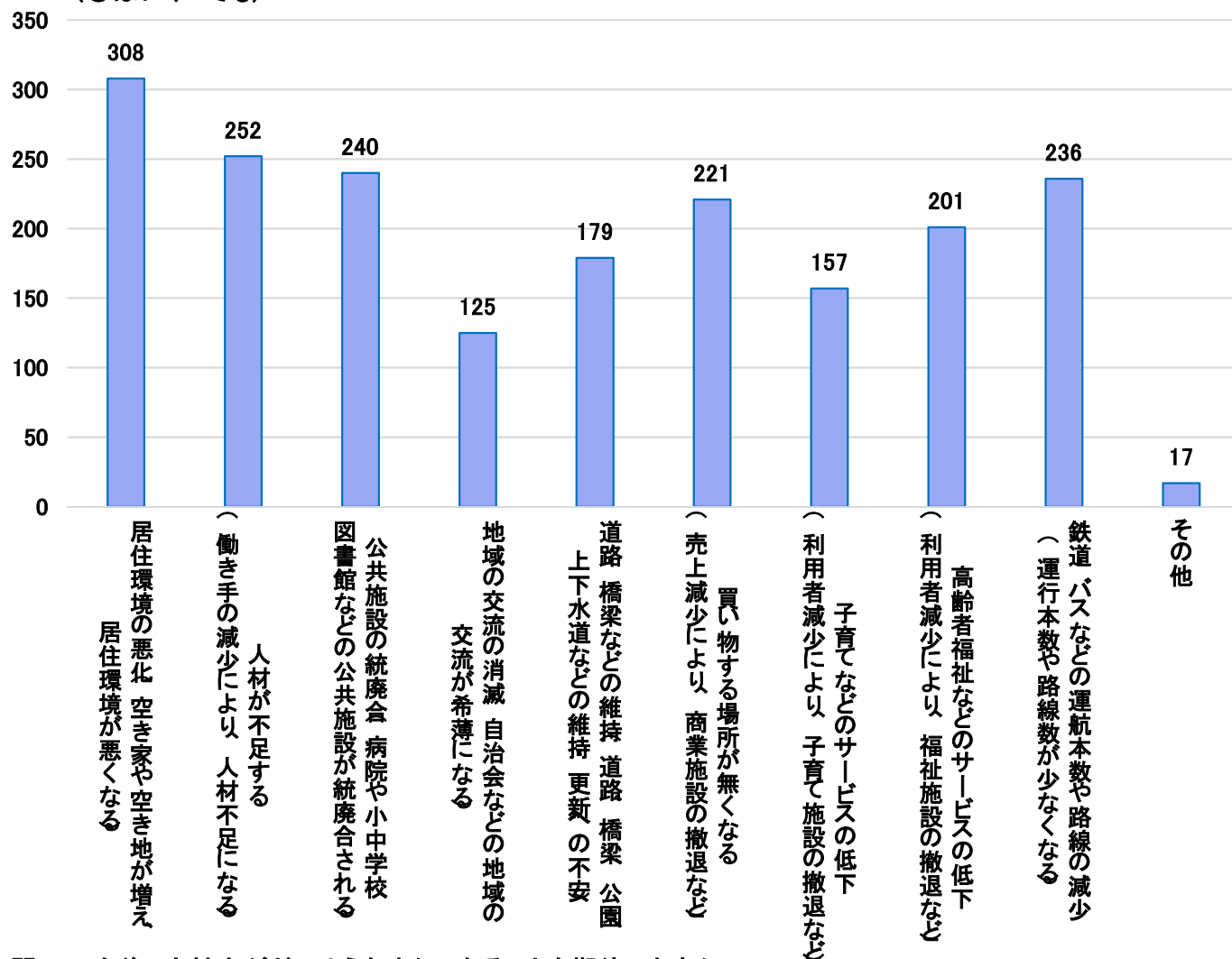
問7 歴史的な地域資源を活かしたまちづくりについて、
どのような意義があるとお考えですか。(〇はいくつでも)



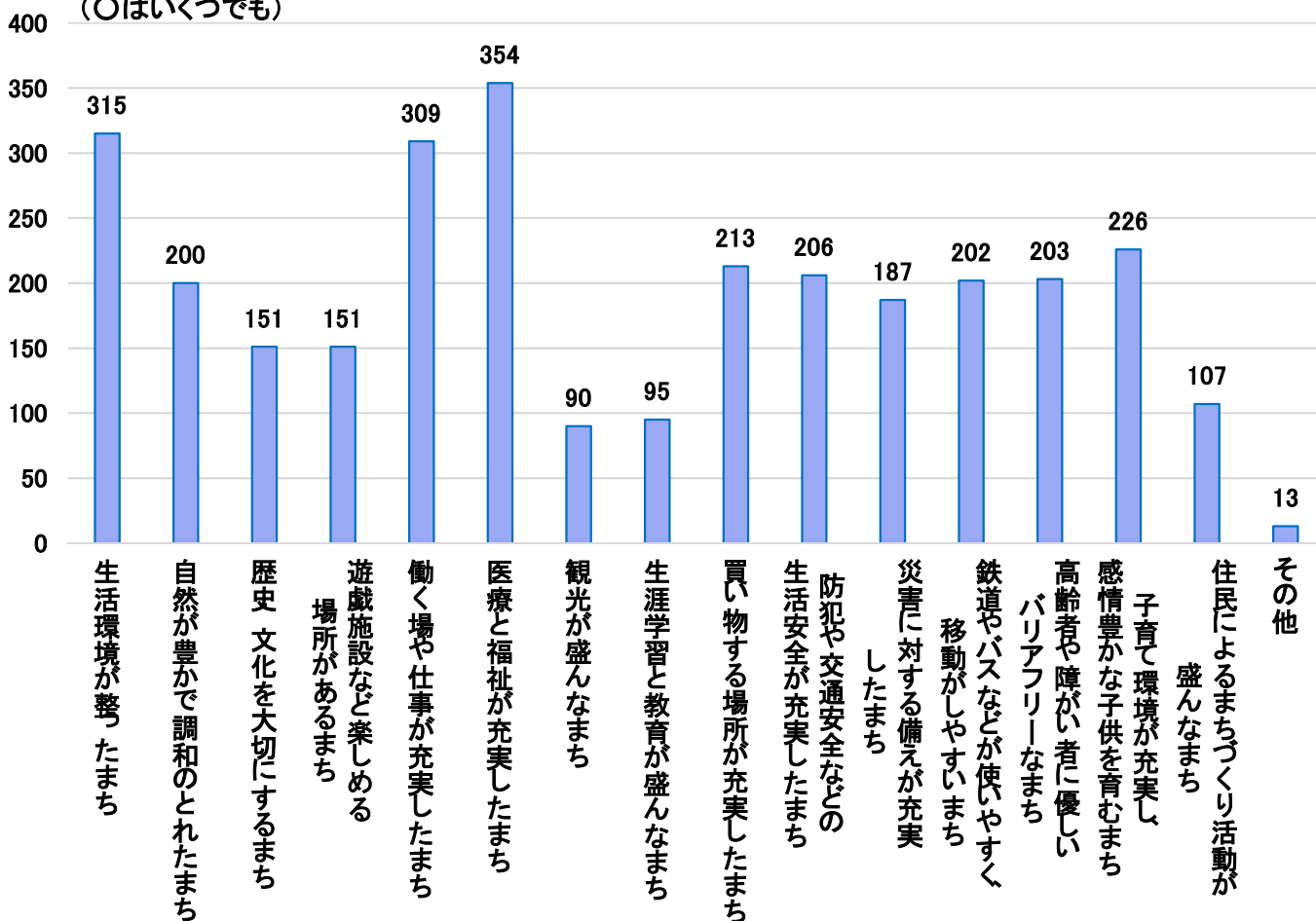
問8 歴史まちづくりで、今後、取り組んでほしい事業を教えてください。
(〇はいくつでも)



問9 人口減少や少子高齢化の進行について、どのような影響や不安を感じていますか。
(〇はいくつでも)



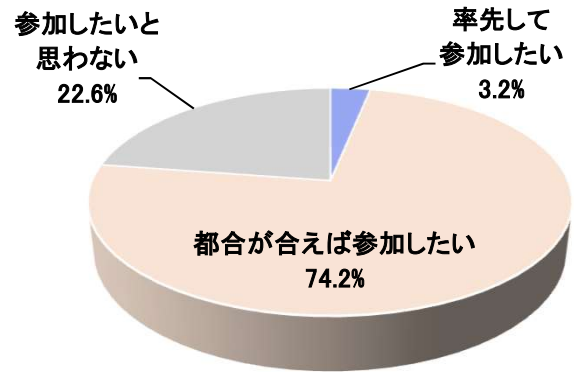
問10 今後、大館市がどのようなまちになることを期待しますか。
(〇はいくつでも)



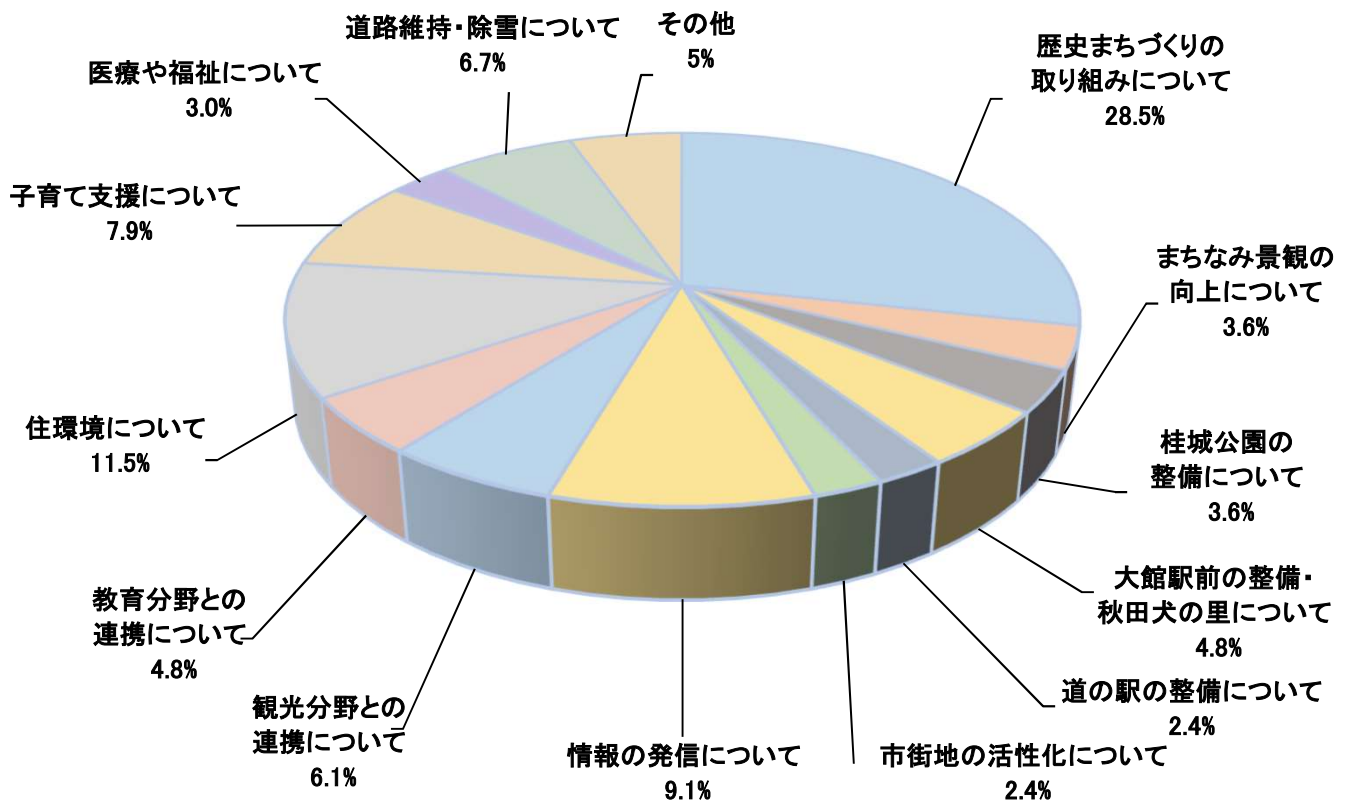
資料2-3

問11 まちづくりへの参加について、基本的な意向を教えてください。

内容	人数(人)	割合
率先して参加したい	14	3.2%
都合が合えば参加したい	328	74.2%
参加したいと思わない	100	22.6%
無回答	14	-
計	456	100.0%



問12 大館市の歴史まちづくりに関して、ご意見やご提案がありましたら、ご自由にお書きください。



回答別大分類／タイトル		回答数	割合(%)
①	歴史まちづくりの取り組みについて	47	28.5%
②	まちなみ景観の向上について	6	3.6%
③	桂城公園の整備について	6	3.6%
④	大館駅前の整備・秋田犬の里について	8	4.8%
⑤	道の駅の整備について	4	2.4%
⑥	市街地の活性化について	4	2.4%
⑦	情報の発信について	15	9.1%
⑧	観光分野との連携について	10	6.1%
⑨	教育分野との連携について	8	4.8%
⑩	住環境について	19	11.5%
⑪	子育て支援について	13	7.9%
⑫	医療や福祉について	5	3.0%
⑬	道路維持・除雪について	11	6.7%
⑭	その他	9	5%
回答計		165	100.0%

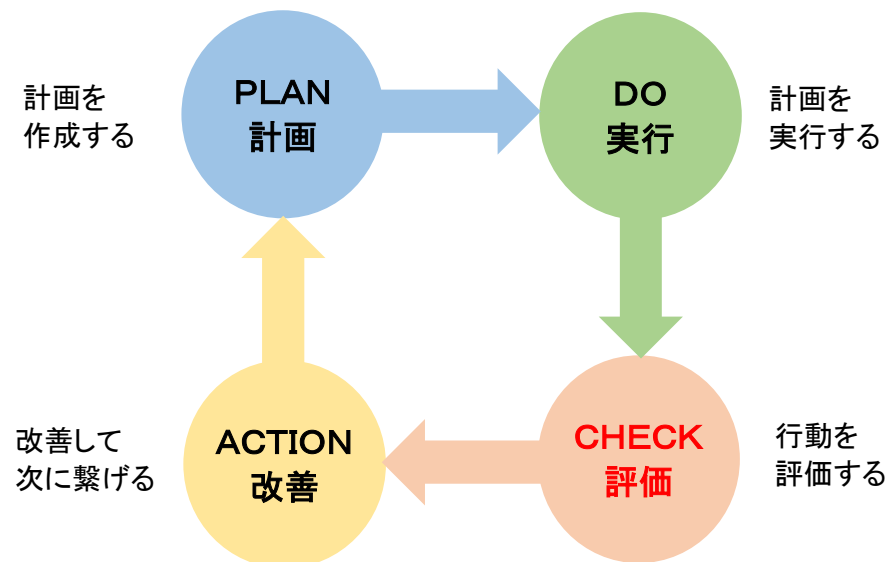
歴史的風致維持向上計画の中間評価について（歴史的風致の状況の変化）

資料3-1

（１）評価の目的

認定された計画の進捗状況を毎年度自ら管理するとともに、計画に記載された方針の達成状況等について、計画期間の中間と、最終年度に自己評価及び外部評価を行うことで、計画に位置づけられた方針の達成及び課題の改善の着実な進展を図る。

OPDCAサイクルの導入



（２）進行管理・評価の実施方法

計画	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
年次	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
進捗評価	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中間評価					○					
最終評価										○

（３）中間評価スケジュール

令和3年度				令和4年度	
12月	1月	2月	3月	4月	5月
作成作業				三省庁と調整	
(暫定版)提出				(案)提出	

中間評価は、6月末に市のホームページで公表予定である。市のホームページと三省庁の歴史的風致維持向上計画のホームページは、リンクしている。

（４）歴史的風致の評価項目

（基本事項）

認定計画の方針に基づく成果や波及効果、さらには代表的な事業の実施状況を踏まえ、各歴史的風致が、計画期間を通じてどのように変化したか、また維持向上に向けた取り組みの成果を評価する。

（評価区分）

- 【維持】 歴史的風致が維持された場合
- 【向上】 歴史的風致が向上した場合
- 【要改善】 歴史的風致の状況が悪化した場合

（５）維持向上すべき6つの歴史的風致の状況の変化

（１）大館城下の町割りに残る歴史的風致

状況の変化 【向上】

理由：大館城下に残る歴史的建造物（大館八幡神社・桜櫓館・大館神社）の保全や、無電柱化整備による町なみ景観の向上を図るハード事業、また、民間まちづくり実行委員会が基軸となり伝統行事の継承に向けたソフト事業の取り組みを行い、歴史的風致の価値が高まった。



曳山車通路整備後の奉納参拝（大館神社）

（２）扇田神社をめぐる歴史的風致

状況の変化 【向上】

理由：重点区域外の歴史的建造物の保全に関する支援制度がない中、関係者や地元を中心に社殿の大規模改修を行い、例祭の舞台となる建造物の保全が図られた。また、歴まち散歩に参加した市民は、佐竹宗家の御神輿や戊辰戦争の激戦地の説明を受け、歴史と文化に理解を深めた。

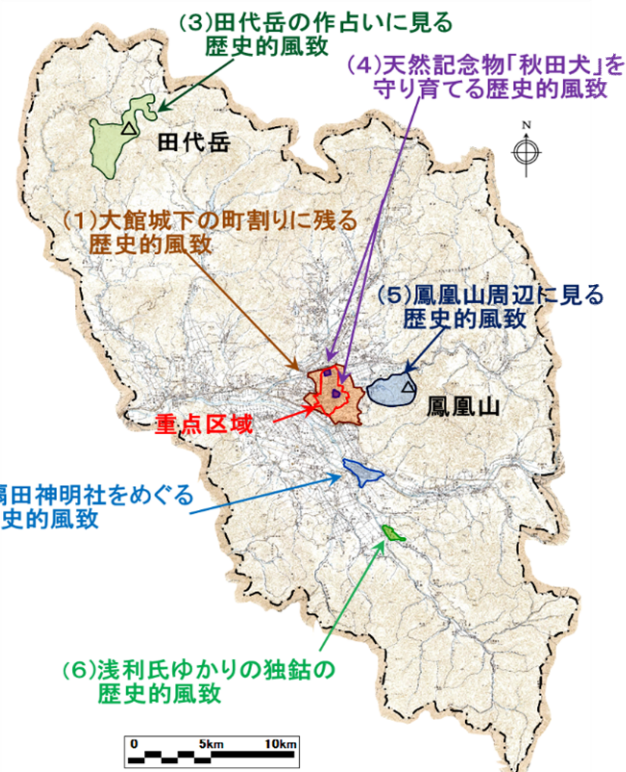


例祭にあわせ開催した歴まち散歩（扇田神社）

（３）田代岳の作占いに見る歴史的風致

状況の変化 【維持】

理由：田代岳の作占いや、その周辺における景観の保全は、関係者により続けられている。また、麓の五色湖エリアも、自然が豊かで、四季折々の表情を見せ、景観も素晴らしいことから、今後このエリアの利活用を検討し、拠点として賑わいの創出につなげていきたい。



（６）浅利氏ゆかりの独鈷の歴史的風致



登山道の木道補修（田代岳）



東館小児童による独鈷囃子披露（大日神社）

（４）秋田犬を守り育てる歴史的風致

状況の変化 【向上】

理由：観光交流施設「秋田犬の里」の完成により、大館の玄関口である大館駅前の賑わいの創出が図られた。また、忠犬ハチ公の物語りを基軸とした取り組みは、渋谷区や全国各地との交流事業の核として役割を果たすとともに、秋田犬の魅力や歴史、文化を発信し、認識を向上させた。



忠犬ハチ公慰霊祭（秋田犬の里前）

（５）鳳凰山周辺に見る歴史的風致

状況の変化 【維持】

理由：鳳凰山の火床送り火は、関係者の尽力により継続し、祭りを楽みにしている市民の思いにこたえている。また、大文字周辺の刈払いにより、市街地からの良好な景観が確保されている。沼窪神社の例祭は、地元町内会が例祭を執り行うなどして大事に受け継いでいる。



火床へ点火体験歴まち散歩（鳳凰山）

（６）浅利氏ゆかりの独鈷の歴史的風致

状況の変化 【維持】

理由：少子高齢化が進む中、関係者や地域の人々が大事に守り育ててきた郷土芸能を、次世代を担う子どもたちが、ふるさとキャリア教育でその歴史や文化を認識し受け継いでいる。このような取り組みにより、浅利氏の縁でつながる山梨県中央市との交流事業が継続している。

歴史的風致維持向上計画の中間評価について（事業の外部評価・波及効果）

資料3-2

（6-1）代表的な事業の質（秋田犬情報発信拠点整備事業）



観光交流施設「秋田犬の里」完成



里帰りのハチ公のはく製

（外部有識者名）

大館商工会議所 専務理事 木村 勝広

（有識者コメント）

大館駅前に、大館ブランドの一つである「秋田犬」を前面に出した観光交流施設「秋田犬の里」を整備したことで、県内外から多くの旅行者や愛犬家が大館市を訪れるきっかけとなっており、タイムリーで効果的な事業であった。またハチ公生存中の渋谷駅前を再現するなど歴史・文化・景観面に配慮した施設となっている。

今後は、これまでの取り組みのほか、レールバイクや街歩きイベントなど、様々な観光事業主体と連携した取り組みを行うなど、多くのリピーターや市民の利活用に取り組んでいただきたい。また、リピーターを増やすために、キーワード上位の「#のんびり過ごす、#子育て、#アウトドア、#レンタルスペース」などの利用者をターゲットにした施設の環境整備を行い、旅行者以外にも多くの市民や学生、生徒、児童に愛され、集えて癒されるように、磨き上げをお願いしたい。

（6-2）代表的な事業の質（歴史的風致形成建造物保全整備事業）



大館八幡神社覆屋完成



桜櫓館耐震改修完成

（外部有識者名）

大館歴史的建造物研究会 会長 鳥潟 宏一

（有識者コメント）

大館市は度重なる大火により歴史的建造物が焼失して、市内にはほとんど残されていないというのが市民の共通認識であるが、大館八幡神社と大館神明社、桜櫓館の歴史的建造物の改修工事は大館市民にとって価値あるものである。旧市内の東の大館八幡神社と西の大館神明社は藩政時代の歴史的軸を残しており、その直線上の間にある桜櫓館と合わせて、これか

らのまちづくりに活かされていくものと期待される。また、大館八幡神社の覆屋建替改修は市唯一の重要文化財である正八幡宮と若宮八幡宮の保全とともに、外部からその存在を窺い知れるように配慮したことや、本殿を拝観しやすいようにしたことは、市民がその存在を知る機会を作り出した。大館神明社、桜櫓館とともにさらに広くアピールしていくことにより、市民のシビックプライドにつながることを期待したい。

（6-3）代表的な事業の質（地域文化財総合活用推進事業）



歴史的建造物シンポジウム



大館囃子講習会

（外部有識者名）

大館市観光協会 会長 山城 久和

（有識者コメント）

自分たちが暮らすまちの歴史や伝統文化を語る人材を、どの位持てるかが魅力的なまちづくりの重要なポイントであり、人材育成が一番に取り組むべき重要な事業と捉えられる。歴史的な物、伝統文化に触れる絶好の機会は、郷土芸能や祭典に関わる様々な行事の取り組みへの参加であり、また、市内に点在する歴史的建造物の由来を知ることは、郷土が育ん

できた歴史への理解と、それを基礎にした地域の未来を考える力となる。この事業が生み出す大きな魅力であり成果となっているのが、各地に伝わる獅子踊りや大館囃子の継承、曳山車の運行に関わることなど、世代を超えた交流を推進する力となっていることであり、次世代を担う子どもたちが地域の子どもたちとして育成され、郷土に誇りと愛着を持ち、地域の宝となって歴史と文化の伝承者として成長していることと考える。関係者だけでなく地域住民を対象とした更なる普及活動を強化することが望ましい。

（7-1）波及効果（交流人口の拡大及び広域連携の促進）



中尊寺ハス前での記念写真
（錦神社／二井田）



歴史まちづくりシンポジウム
（東北の平和を希求する想いを
まちづくりへつなぐ）



青ガエル移設記念セレモニー
（秋田犬の里）

（効果の概要）

歴史的風致維持向上計画に基づく取り組みは、歴史や文化を活かした活力あるまちづくりにつながるとともに、歴史的風致の価値が高まる。また、取り組みを通じて、交流人口の拡大や広域連携の促進が図られた。

（今後の対応）

広域連携を進めるにあたり、シンポジウムの参加や開催のみならず、次世代を担う子どもたちが他市の歴史や伝統・文化を学ぶ交流も必要である。交流がきっかけとなり、生まれ育ったふるさとへの思いや愛着、誇りを持つことにつながることから、ふるさとキャリア教育と連携を図り、取り組みを目指す。

（7-2）波及効果（民間まちづくり実行委員会による地域文化財の活用推進）



歴史的建造物実態調査
（比内地域）



大館囃子教則映像DVD作成
（小中学校に配布）



文化遺産パンフレット作成
（中国語版）

（効果の概要）

近年の人口減少や少子高齢化により、地域文化遺産の次世代への継承が危ぶまれている。この課題解決のため、民間4団体で構成するまちづくり実行委員会が設立し、取り組みの継続により、地域の文化遺産の継承、後継者育成及び文化遺産の活用が図られた。

（今後の対応）

歴史的建造物の滅失が増加する中で、所有者の意向を反映しながら、映像や図面に記録保存することも必要と考える。次世代を担う子どもたちが積極的に伝統行事に参加できる環境づくりを関係者と意見交換を重ねながら、郷土芸能や伝統文化を体験できる機会を提供する。

（8）目指すべきところ（教育に根ざしたひとづくり）



歴まち散歩（歩いて）



探求講座（触れて）



出前講座（知って）



木育教室（関わって）
高校生まちづくり会議HACHI

ふるさとキャリア教育の推進 ～まちに愛着と誇りを～

“あなたが生まれ育ったまちは、どんなところ？”

まちに何も無い⇒まちを歩いて⇒まちに触れて⇒まちを知って⇒まちに関わって⇒まち育て！

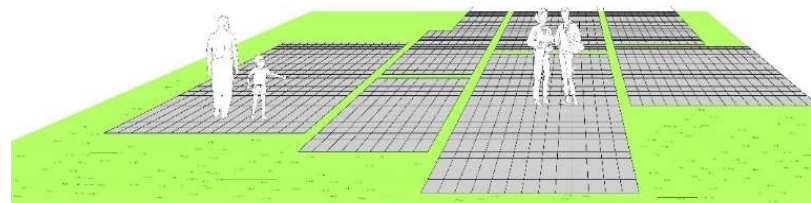
桂城公園修景整備基本計画について

“歴史と未来が交差する水と緑の城址公園”を目指して

資料4

整備スケジュール(案)

令和3年度 修景整備基本計画策定(堀・土塁の現況測量を含む)
 令和4年度 堀・土塁修景実施設計、工作物撤去等工事
 令和5年度～ 堀・土塁修景整備工事、その他施設の修景工事
 ※体育館及び武道場跡地(令和6年度まで来客・公用車臨時駐車場)
 臨時駐車場が不要となった時点で、公園区域を拡大し、整備に着手



城址のしつらえのイメージ
 景観を考慮し、芝生との色や質を変え、平面上でしつらえを整える。
 また、新庁舎からの眺望により、城址の雰囲気を感じていただくとともに、認識の向上を目指す。



新庁舎から見た城址
 新庁舎の高さと、北側斜面の高さにより遠くの山並みや大館盆地を見渡せる。



手前は、お堀にかかる木橋
 奥は、旧大館城に建つ大館男子尋常小学校
 (大正14年撮影)



木橋のイメージ
 木デッキ園路を新設し、大館城に入城するしつらえを整える。



イベント広場のイメージ
 野外ステージ撤去にあわせて、新庁舎や親水広場と一体となる活動拠点を整える。



シンボルロードのイメージ
 大館八幡神社～本丸跡～三ノ丸につながる軸を整える。